紫陽花

岩代 服部 貞子

夢の行方を逐うむと、
露に染まるうつつなを

紫陽花を嬉々と笑む、
露に濡れ憂うつつ

小楼に重き紫の、
奇しさけびの人たち

髪委る伝旧節
小林徹

可笑し手振りに微笑みて、
遠寺の野響きに、

「夫は彼れよ」と明星を指す。

身をひるがへす狂ひ女の、

あな狂れたり七変花。

底本：「女子文壇」 明治三十九年第十九号
公開：平成三十年三月三日

リンク　水野仙子ホームページ